

2. 業務遅延の原因と対応策

業務遅延の原因

実施設計において、より効率的な運営、安定的な経営という観点からの平面計画などの見直しを行いました。

- ・平面計画・仕様の再検証
- ・スタッフの配置計画との整合
- ・警備、清掃、給食などの委託仕様との調整
- ・人や物の動線、医療機器などのレイアウトなどの検証

以上の検証・調整結果に基づく平面計画の変更、構造・設備計画との整合作業に想定以上の時間を要し業務遅延が発生しました。

■基本設計からの主な変更点

	基本設計	実施設計
1	利用者用 1~2 階 EV を設置	利用者用 1~2 階 EV の取りやめ
2	給食専用 EV を設置 ※スタッフ用 EV 3 台	給食専用 EV の取りやめ ※スタッフ用 EV 2 台
3	—	外部用 EV の追加

■実施設計における詳細な検討の結果に基づき変更調整を行った主な部分

	部門	変更調整した部分
1	1F 栄養	諸室及び機器レイアウトの変更
2	2F 外来	待合い座席数の変更と各診察室の配置調整
3	3F 手術等	諸室レイアウトの変更
4	3F 管理	事務スペース、食堂及び倉庫などの拡充
5	4~6F 病棟	1 床室は全室、4 床室は 1 室当たり 1 箇所程度トイレを整備
6	6F 透析	ラウンジ部分に増床スペースの確保（4 床）、諸室の配置調整
7	外構車寄せ	患者などの送迎時に利用可能な、駐停車区画を確保
8	立体駐車場	車イス、思いやり駐車区画の確保

今後の対応

工程回復に努めるものの、現時点において、構造関係の手続きに 5 ヶ月を要することから、3 ヶ月程度の遅れが生じ契約履行期間内での業務完了が困難な状況であります。

今後、業務完了が平成 31 年 6 月末までかかる見込みであるため、履行期間の延長及び年度繰越しの手続きを適正に行います。

なお、駅前での新病院の開院時期についても、今後検討いたします。

3. 概算工事費について

■野洲市民病院整備 実施設計概算工事費比較表

項目	概要	基本設計時点	実施設計概算	差額
1 病院棟	基礎免震 S造(6F 199床)	6,593,940,000	7,242,000,000	648,060,000
	16,322㎡	403,990円/㎡	443,700円/㎡	39,710円/㎡
2 立体 駐車場棟	4層5段(250台)	565,190,000	586,000,000	20,810,000
	7,125㎡	79,320円/㎡	82,250円/㎡	2,930円/㎡
3 連絡通路	耐震 S造(2F)	131,425,000	104,000,000	-27,425,000
	233㎡	564,060円/㎡	446,350円/㎡	-117,710円/㎡
1～3 合計		7,290,555,000	7,932,000,000	641,445,000
	(内、消費税相当額)	540,042,000	721,091,000	181,049,000
	23,680㎡	307,880円/㎡	334,970円/㎡	27,090円/㎡

■工事費上昇の主な要因

○建築資材単価及び公共工事設計労務単価の上昇

資材単価は、平成 29 年（2017）に落ち着きを見せたが、鋼材関係を中心にここ 1 年の間に上昇に転じ、材種によっては 10%を超える上昇率となっています。

公共工事設計労務単価についても、年々上昇を続けています。

※参考 （一財）建設物価調査会 「建設物価 12 月号 主要資材価格動向」

（一財）建築コスト管理システム研究所「平成 30 年 3 月からの公共工事設計労務単価の動向」

○消費税率の見直し

平成 31 年（2019）10 月に 10%に引き上げられます。

■今後の方針

基本設計においては、当時の市場動向に基づき適正に概算工事費を算出いたしましたが、現時点における資材価格の高騰を受け、工事費の増額が見込まれる状況であります。

ただし、これを収支計画に反映、検証したところ、一定の経営改善が必要ではあるものの持続可能な経営が行える見通しがあることから、引き続き病院事業に取り組む考えです。

なお、概算工事費については、現時点における市場動向を考慮したものであり、今後積算業務において適正な工事費を算出いたします。